

# 市川行貞・行雄父子（生没名師弟）

上町下町市川両家中興の祖とあり

## 市川紀七郎延膏

- ・下町市川永貞の子、一八二五、五二歳で没。
- ・長男行貞と両家繁栄のため尽力す。

松村喜右工門娘

## ソウ

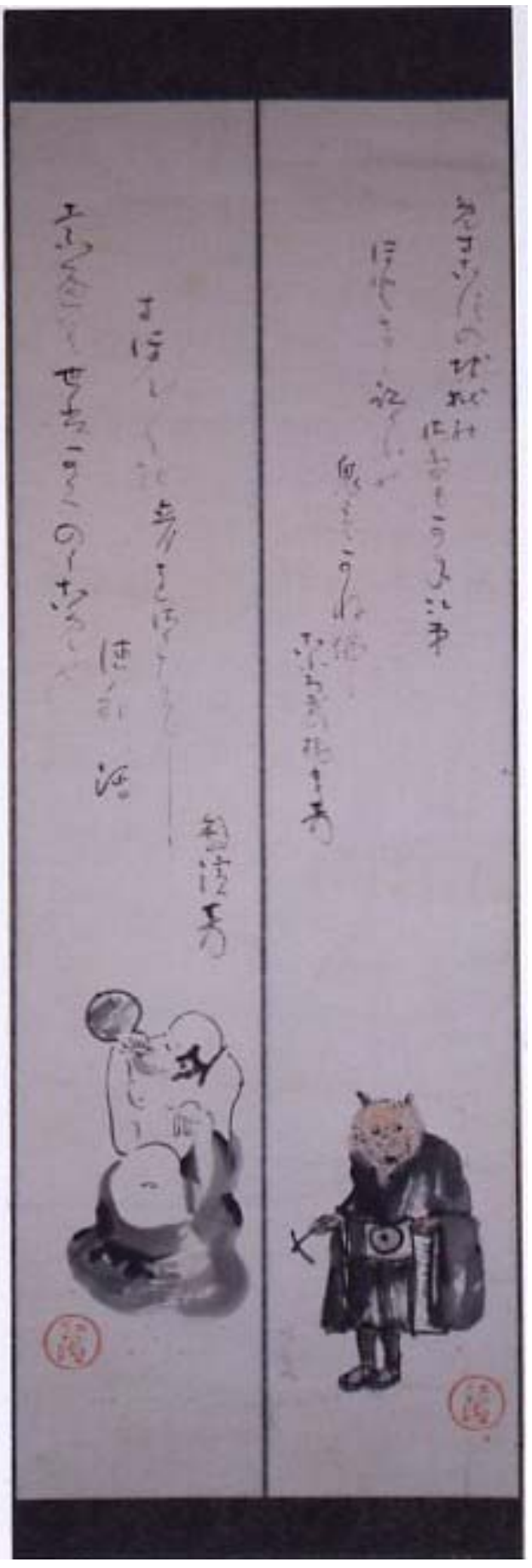
## 九郎五郎行貞

- 大庄家・郷土格・豪商。一八七六、七七歳で没。
- 清瀬 号梅花園
- 千種有功の門に入り歌道を学ぶ。

## 幸雄

- 一八四九、江戸にて死。
- 與一郎 居貞 後幸雄 字は采 九章 号梅客・倩斎
- ・はじめ原松洲 学友に山田城均 松村春塘 西巻敬称 玉井一郎 水落雲涛。

・江戸に出て、福永俊平の養子となり、忠之進と称し、御徒自附御勘定吟味役となる。



行雄

一八九二、六二歳で没  
房之助、貞一。

五十四年三月廿五日  
昔は久々の梅は園に  
訪いませぬ一はのあし  
梅は心とりの春をふけ行貞

山紅葉  
とほりるにまをりしれをこのあふさふさ  
山ゆふふふふふふふふふふふふふふふふ